Course nu	U-LAS20 10001 SB48											
	英語リーディング ER19 1J8 English Reading					name and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, TANIGUCHI KAZUMI			
Group La	inguages Field(Classifi	Classification)					
Language of instruction	nese			Old group G		Group C		Number of cred		2		
Number of weekly time blocks	1 Class sty					Foreign language) ace course)		Year/semesters		2024 • Second semester		
Days and periods	Mon.2	Mon.2			Target year 1s		st year students		Eligible students		For all majors	
[Areas of skills]												

[Areas of skills]

Academic Reading

[Overview and purpose of the course]

この授業では、英語リーディング・スキルの習得と向上を目的とする。学術的文体の英文を精読・ 多読し、構文や文法を把握すると共に、著者の意図を適正に解釈する力を身につけ、英語による議 論の構成を学習する。

さらに、音読によるリーディングの練習も取り入れ、英語音声の特徴について詳細に学習する。

[Course objectives]

- ・学術的な英語テクストを読解し、正確に理解すると共に、その内容について議論を深めることが できるようになる。
- ・英語の音声の特徴を理解し、リスニング・スピーキングのスキル向上に努める。

[Course schedule and contents)]

この授業で扱うテキストは、社会言語学の第一人者であるDeborah Tannenによる著作である。会話スタイルや対人関係の志向性に関する男女の相違に焦点を当て、その相違が職場においてどのような問題を引き起こし得るか、豊富な具体によって示されている。場面は職場ではあるが、学生生活にも多くの点で当てはまる、身近な事例が扱われている。卓越した書き手である著者による文章は、学術書としての論理性と巧みな表現に富んでおり、大学生の英語学習には最適である。

テキストは第1章と第2章を中心に、以下のスケジュールで読み進める。

Chapter 1 Women and Men Talking on the Job

- 1. Introduction (第1回~第2回)
- 2. When not asking directions is dangerous to your health (第3回)
- 3. To ask or not to ask (第4回~第5回)
- 4. Negotiating from the inside out or the outside in (第6回)
- 5. When is the wage gap a communication gap (第7回)

Chapter 2 "I'm sorry, I'm not apologizing"

- 1. Introduction (第8回)
- 2. Saying "I'm sorry" when you're not (第9回~第12回)
- 3. Taking blame and influencing people (第13回~第14回)

Continue to 英語リーディング ER19(2)

英語リーディング ER19(2)

各回2-3名の担当者によるプレゼンテーションを中心に、内容および英文の要点を確認していく。

また、授業の冒頭30分程度を使用し、課題文(別途プリントで配布)の音読の練習を行っていく。 音読により英語の音声の特徴を理解し、リスニングおよびスピーキングの基礎を身につけていきた い。

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。 以下の割合で、総合的に評価する。

- ・中間試験および期末試験:70%
- ・音読試験 (20%)
- ・平常点 (10%)

詳細は初回授業時のガイダンスで説明する。

[Textbooks]

Tannen, Deborah 『Talking from 9 to 5: Women and Men at Work』(Shohakusha(松柏社))ISBN:978-4-88198-473-4

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

- ・授業で扱う範囲について、英単語や文法事項をはじめとする予習は必須です。
- ・内容について毎時復習し、理解を深めること。
- ・多読の課題は各自のペースで計画的に進めること。
- ・音読は短時間でも継続的に自習することが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]